

デジタル放送の特性を活かした災害情報の伝達のあり方研究会 — 1年間の活動 —

日本災害情報学会「デジタル放送研究会」
コーディネータ 藤吉 洋一郎

はじめに

2004年9月、本学会初の研究会である「デジタル放送研究会」が立ち上がり、1年余が経った。ここでは、その間の活動概要を紹介する。

1. 研究テーマ

デジタル放送が災害情報の伝達にどのような可能性を持つか、先進事例、災害事例等を調査研究し、防災・減災面から見て来るべきデジタル放送時代の放送サービスのあるべき姿を提言する。

2. メンバー

コーディネータ役として学会副会長の藤吉、以下、2005年9月24日現在、表.1に示す学会員21名が参加している。幅広い層のメンバーが集まっているのが特色である。

表.1 研究会員一覧

| 分野 | 人数 | 氏名 (参加申込順) | | | | | | |
|--------|----|----------------|---------------|----------------|--------------|---------------|----------------|---------------|
| 教育機関 | 5 | 藤吉洋一郎 大妻女子大 | 小田貞夫 十文字学園 | 鷹野 澄 東大地震研 | 蔡 垂功 ベネッセ | 大西勝也 大妻女子大 | | |
| 行政機関 | 3 | 川端信正 静岡県 | 桜井美菜子 気象庁 | 水上知之 三重県 | | | | |
| 放送機関 | 7 | 笹田佳宏 民放連 | 有馬正敏 南日本放送 | 山崎智彦 NHK 長野 | 羽太宣博 MICO | 天野教義 TBS | 羽原順司 NHK 新潟 | 谷原和憲 日本テレビ |
| 気象事業者 | 3 | 田代大輔 JWA | 田口晶彦 JWA | 志賀康史 WNI | | | | |
| 建設コンサル | 3 | 天野 篤 アジア航測 | 加藤宣幸 建設技研 | 神吉千太郎 アジア航測 | | | | |

3. 活動実績

研究会では、表.2に示すように、専門家による勉強会、被災地現地調査、技術研究所視察等の活動を実施してきている。

- ・ 会合頻度は1~2ヶ月に1回、あとは研究会専用MLで随時意見交換している。
- ・ 勉強会では、防災報道、気象、ライフライン、デジタル放送や通信の専門家らを講師に招きレクチャーを受け、講演後、話題提供を交えつつ、ディスカッションを実施している。うち第4回は、市澤予報課長退官記念講演として、広く学会員に公開しての拡大講演会とした。
- ・ また、ケーススタディとして実際の災害事例をとりあげ、もしデジタル放送だったら

情報伝達面の課題がどう変わるか、変えられるか検討している。これまで、2004 年全国各地で発生した特徴的な災害事例のうち、新潟と三重について分科会チーム編成を行い、聞き取りを中心とした現地調査を実施している。

- ・新潟水害や中越地震では避難勧告等の情報が必ずしも十分伝わらなかったが、何が問題で、どうあるべきだったか、放送はそのときどう機能したか、それが新しいデジタル放送+情報通信技術でどこまでクリアーできるのか、といった検討を行っている。
- ・先進的取り組みを行っている三重県下でも、紀伊半島南東沖地震時の津波避難事例、台風 21 号に伴い宮川村で発生した土砂災害事例などがあり、三重大、東北大などが実施したアンケート調査も参考に同様の検討を行っている。
- ・今後引き続き、勉強会や新たな被災地の現地調査を重ね、デジタル放送という情報新技術を防災上の課題解決に活用する方策を探り、2 年間のうちに最終的に提言につながる成果を報告書にとりまとめて公表する予定である。

表.2 活動実績一覧

| | 年月日 | 曜 | 時刻 | 会場 | 行事 | 講演者等 | 参加者 |
|--------|----------------|------|-------------|------------|------------|--------------------------|--------|
| 全 | 04 年 9 月 7 日 | Tue. | 17:30～19:30 | 学会事務局 | 設立会 | 藤吉 | 13 |
| | 04 年 9 月 22 日 | Mon | 18:00～19:30 | 気象庁 | No.1 幹事会 | — | 4 |
| | 04 年 10 月 29 日 | Mon | 17:00～19:00 | 気象庁 | No.2 幹事会 | — | 3 |
| | 04 年 11 月 18 日 | Thu. | 17:40～20:00 | 東大廣井研 | No.1 勉強会 | 藤吉・羽太・田代 | 15 |
| | 05 年 1 月 22 日 | Sat. | 13:00～17:00 | アジア航測 | No.2 勉強会 | 羽原・有馬 | 17 |
| | 05 年 2 月 25 日 | Fri. | 18:30～20:10 | 気象庁 | No.3 勉強会 | 砂川氏(民放連)・笹田 | 12 |
| | 05 年 3 月 4 日 | Mon | 19:30～21:00 | 民放連 | HBF 贈呈式 | — | 5 |
| | 05 年 3 月 25 日 | Fri. | 18:00～20:00 | 東大山上会館 | No.4 拡大勉強会 | 市澤氏(気象庁) | 10(24) |
| 体 | 05 年 4 月 23 日 | Sat. | 13:15～17:55 | TBS | No.5 勉強会 | 東方氏・林氏・藤巻氏(ともにNTT東)・天野教義 | 17 |
| | 05 年 5 月 25 日 | Wed | 14:55～17:00 | NHK 技研 | No.6 勉強会 | — | 13 |
| | 05 年 6 月 10 日 | Fri. | 18:00～22:00 | 東大地震研 | No.7 勉強会 | 坂口氏(東京ガス)・花村氏(東京電力) | 12 |
| | 05 年 9 月 18 日 | Sun. | 10:00～16:00 | NHK 放送センター | No.8 勉強会 | 兄部氏(NHK) | 10 |
| 三 | 05 年 6 月 10 日 | Fri. | 20:40～21:10 | 東大地震研 | No.1 打ち合わせ | — | 6 |
| | 05 年 7 月 14 日 | Thu. | 13:00～21:00 | 津市内 | 現地調査 | — | 6 |
| | 05 年 7 月 15 日 | Fri. | 8:30～18:00 | 宮川/尾鷲方面 | 〃 | — | 7 |
| 新 潟 | 05 年 5 月 21 日 | Sat. | 13:00～14:20 | プレスセンター | No.1 打ち合わせ | — | 8 |
| | 05 年 7 月 23 日 | Sat. | 13:00～14:00 | プレスセンター | No.2 打ち合わせ | — | 3 |
| | 05 年 8 月 1 日 | Mon | 10:30～19:00 | 新潟市内 | 現地調査 | — | 3 |
| | 05 年 8 月 2 日 | Tue. | 10:30～12:00 | 新潟市内 | 〃 | — | 3 |
| | 05 年 8 月 30 日 | Tue. | 13:30～14:30 | 新潟市内 | 〃 | — | 1 |

第 7 回日本災害情報学会研究発表大会では、両現地調査結果を中心に、中間的な報告を行うものとした。また、2005 年 9 月に発生した台風 14 号災害事例についても、今後、現地調査を追加実施する予定である。

これまでご協力いただいた皆様に深謝するとともに、引き続きよろしくご支援を賜りたい。